

漁海況情報第4報 (2020年7月10日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

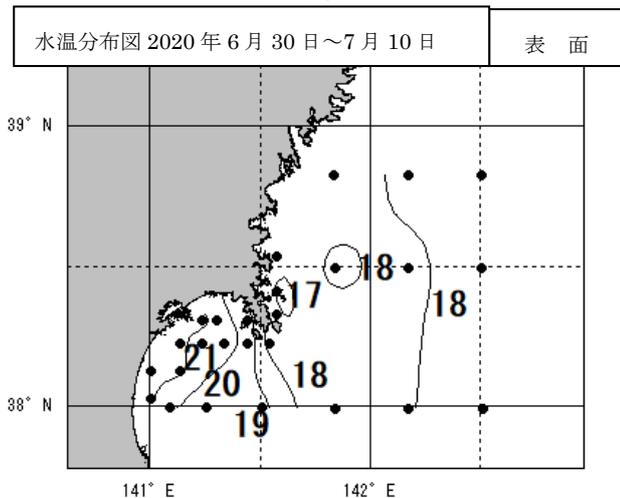
142° E 以東の水深 100m に冷水が波及しています。

宮城県沿岸の表面水温は 16～21℃台、100m 深水温は 4～13℃台となっています。表層水温は平年並みから 1℃高め、水深 100m においては 142° E 以東に冷水が波及し水温が平年と比べ 1～3℃低い値となっていますが、142° E 以西では 1～2℃高めです。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図は図のとおりです。[P2. 水温鉛直断面図]。

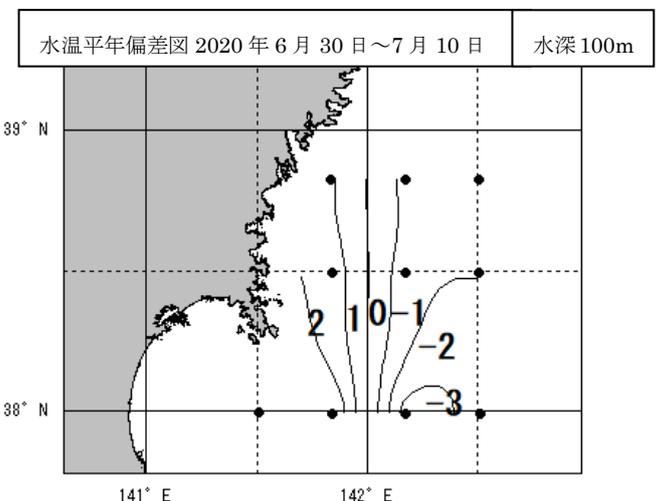
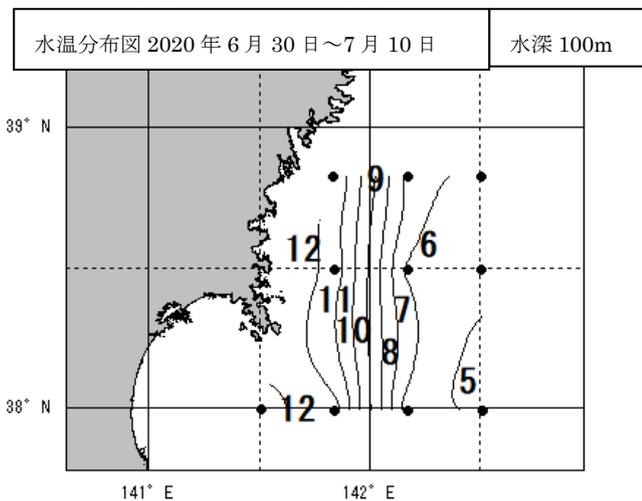
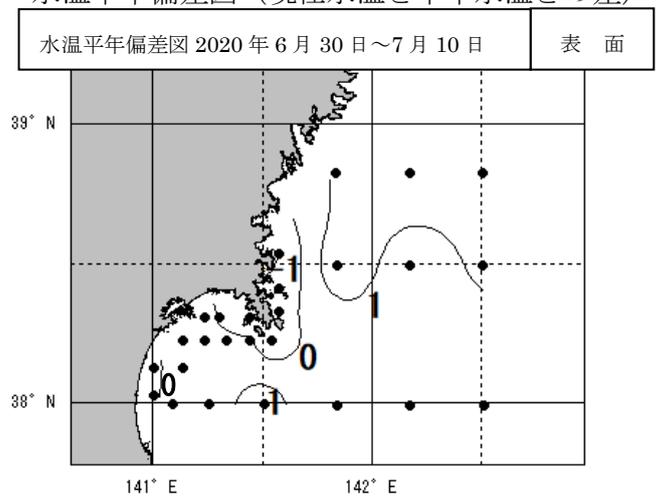
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は後退しましたが 13～14℃台の冷水が襟裳岬沖南 30 海里まで南下し、一方で宮城～青森沖を 17～20℃台の暖水が北上、暖水塊を形成しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

7 月上旬の定地水温は 17～21℃台で、歌津で高め、気仙沼・田代島では平年並み、佐須浜・亘理ではやや低め、桂島では低めとなっています。江島は観測機器をメンテナンス中のため欠測となりました [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は 7～14℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

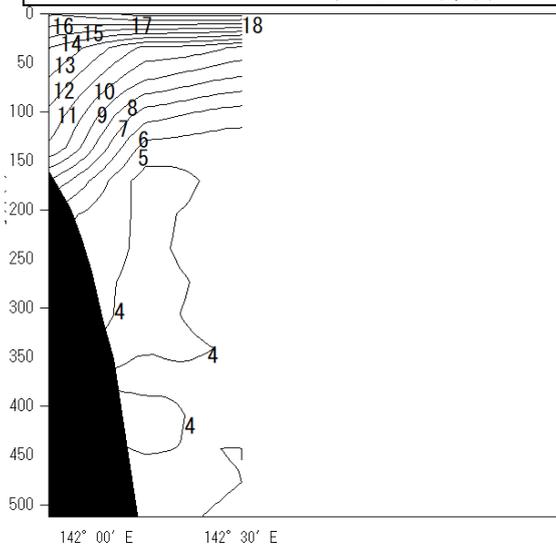


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

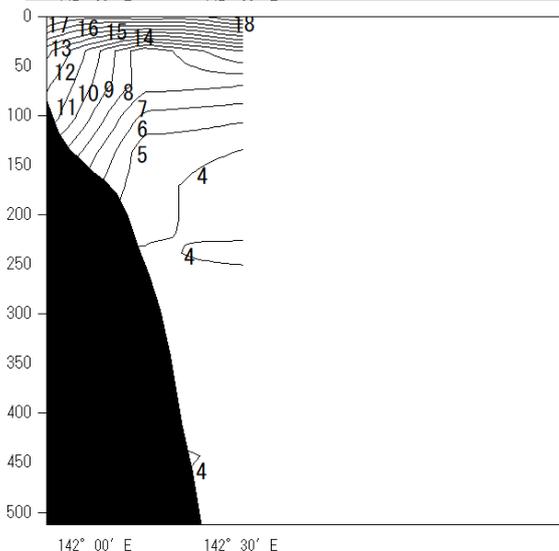


・水温鉛直断面図

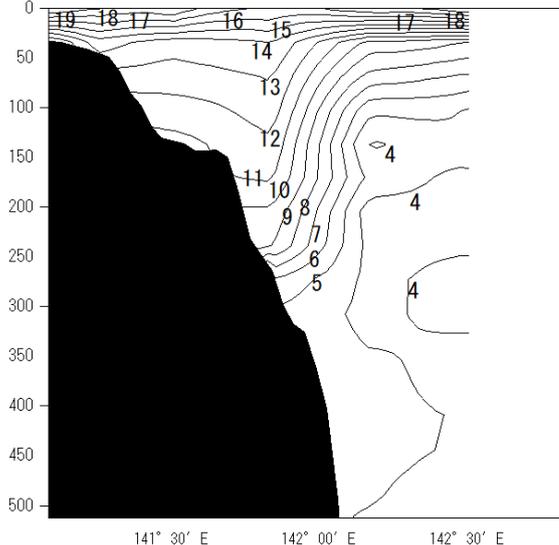
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

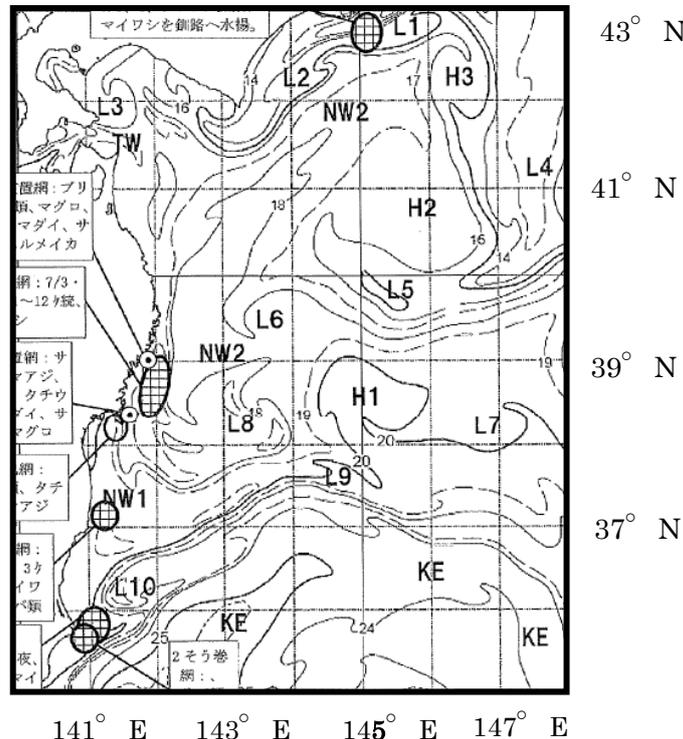


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2020年7月6日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

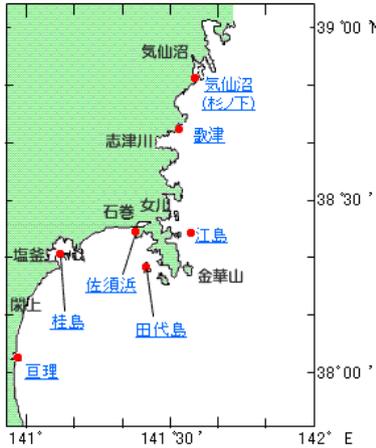
【海況】 (7月6日表面水温)

- ・親潮第一分枝は後退したが、13~14℃台の冷水が襟裳岬沖南30海里まで南下。
- ・津軽暖流(17~18℃台)が尻屋沖東15海里へ張り出し、下北~金華山沿岸に16~17℃台の混合水が分布。
- ・黒潮続流(24~25℃台)は犬吠埼沖東45海里を北東へ進み福島広野沖東150海里へ北上。
- ・19℃台の暖水が房総~福島沿岸を北上し仙台湾口に分布。
- ・宮城~青森沖を17~20℃台の暖水が北上、暖水塊を形成。

【漁況】 (7月3日~6日)

- ・まき網: 1そうまき網は前半に房総~常磐沖で操業するも、後半には全船が北上し金華山~大船渡沖でマイワシを漁獲。
- ・定置網: 石巻はサバ類主体、大船渡はブリ類主体。
- ・カツオ竿釣: 房総沖でカツオ主体にダルマ混じりで平均7t/隻・日漁獲。
- ・カツオ・マグロ巻網: 4~10ヶ続がカツオやマグロなど漁獲。
- ・イカ類: 青森で昼イカの操業開始。
- ・カツオ6~11月の来遊予測(水産研究教育機構): 昨年および過去10年平均を下回る。

・定地海洋観測



	7月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	17.9	平年並み	0.3	0.0
歌津	18.6	高め	1.7	0.5
江島	メンテナンス中			
田代島	20.2	平年並み	0.3	0.3
佐須浜	20.2	やや低め	-0.7	0.1
桂島	21.8	低め	-1.4	-0.1
亶理	20.9	やや低め	-0.8	0.2

※平年値＝ 過去30年

※佐須浜(過去10年)

※歌津(平成28年12月から観測再開)

※桂島(平成24年3月から観測開始)

※亶理(平成24年10月から観測開始)

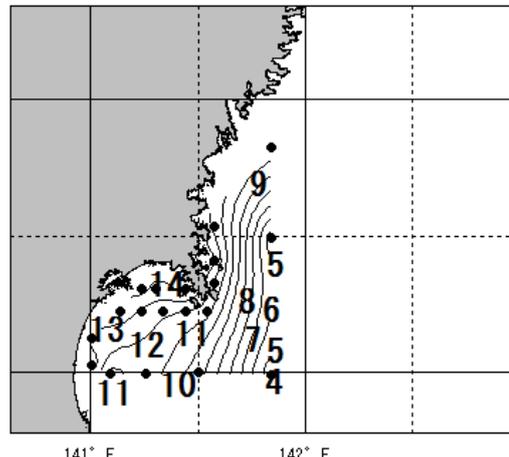
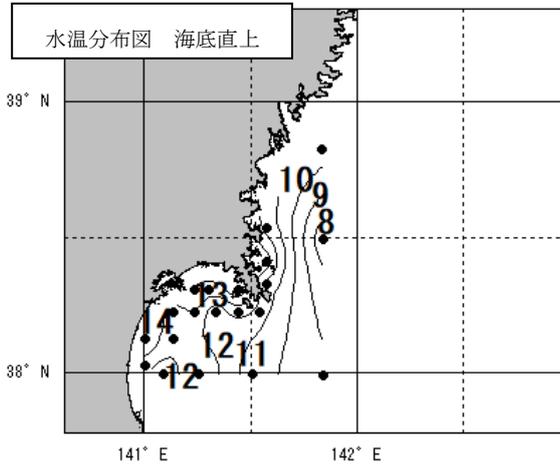
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2020年6月30日～7月10日)

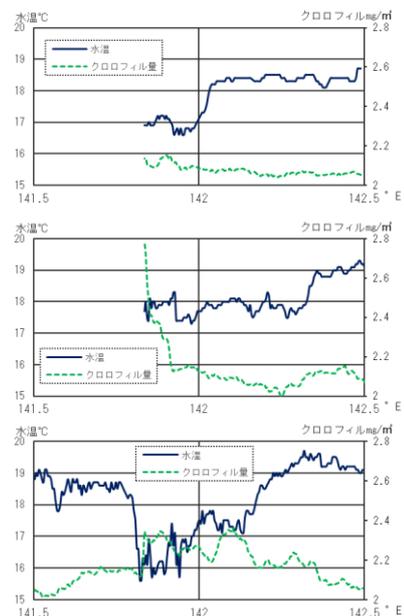
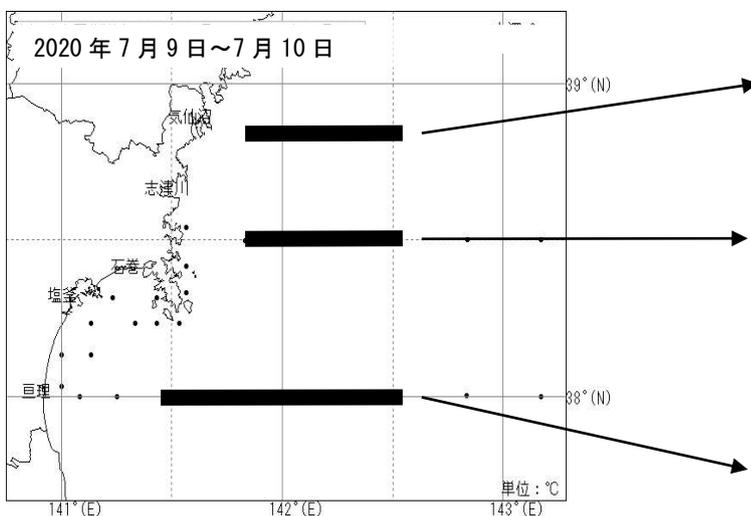
・海底直上水温(2019年7月2日～7月22日)



(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温と表層クロロフィル濃度は、下記の通りです。



3. 漁況

6月の水揚量は前年と比較して、ビンナガが著しく増加しています。カツオは不漁傾向ですが、前年同月と比較すると著しく増加しています。メバチ、スルメイカ、ブリ類、マイワシ、カタクチイワシ等の水揚も増加しています。キハダ、イトヒキダラ、ババガレイなどは減少しています。

(単位：トン)

2020年6月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			1967		5932				47		1389	9335	4610%
メバチ			53		172				22		26	274	1027%
クロマグロ			38			5	0			11	1	55	79%
キハダ			12		2				5		0	19	24%
カツオ			378		728				2		20	1127	5549%
サバ類	2185	113	1091			1359	0				126	4874	114%
ブリ類	0	0				643	0			0	86	729	213%
ヒラメ	3	55				12	58				56	184	86%
サメガレイ	32	0									0	32	114%
ババガレイ	9	2				0	1				1	13	41%
マコガレイ	0	13				0	23				8	44	112%
マガレイ		3				0	2				0	5	128%
マイワシ	0	1	6813			2480					144	9437	210%
カタクチイワシ						2					0	2	19750%
マダラ	21	1				0					19	40	34%
スケトウダラ	16	8				0	0				1	26	112%
イトヒキダラ	50											50	12%
カナガシラ	1	18				8	0				0	28	112%
スルメイカ	168	17				5					0	190	270%
ミスダコ	23	53				0	0				13	89	71%
ガザミ		0				0	8				7	15	76%

※0は1トン未満を示しています。

4. 調査船運航計画

みやしお	
7/14～15	スルメイカ漁場調査
開洋	
7/14～	種ガキ調査
7/20～	アカガイ資源状況調査
7/27	シラス調査